

帯広市立愛国小学校 学校だより



あいこく

令和6年9月13日（金）発行 No.11 文責 校長 合田 真晃

学校教育目標

豊かな心で協力しあえる子ども
自ら学び創造し深く考える子ども
何ごとにも進んでやりぬく強い子ども

「夏休み作品発表会」それぞれの思いがいっぱい！

34日間という長い夏休みが明けた初日、私はいつも通り校門の前に立ち、久々にやってくる子どもたちの「おはようございます！」という元気な声が聞こえてくるのを楽しみに待っていました。しかし、なんと始業式の日にはほとんどの子が自動車に乗って保護者の皆様に送ってもらっての登校でした。若干の寂しさを感じた私ですが、車から降りてくる子どもたちを見てその理由がピンとききました。それは、授業で使う道具をたくさん持って来ることはもちろん、夏休みに取り組んだ作品を壊れないように持ってくるという大切なミッションがあったからだったのです。「どんなのをつくってきたのかな？」と言う私に、早速いろいろと説明をしてくれる子、少し恥ずかしそうにそっと作品を見せてくれる子、「まだ内緒だよ〜！」とその場では絶対に見せてくれない子など、反応は様々でしたが、それぞれの笑顔を見て、しっかりと自分なりの思いをもって取り組んできたのだということが伝わってきました。

始業式翌日の28日（水）には、お仕事の都合がついた保護者の皆様にも参加していただいて、各クラス毎に夏休みの作品発表会が行われました。それぞれが知恵を絞り、自分なりに真剣に向き合って完成させた作品はどれも大変見応えがあり、子どもたちは互いにたくさんの刺激を受けていました。きっと、友達の取組からいろいろなことを感じ、学びを深める貴重な場となったことと思います。お忙しい中、都合をつけて発表会に参加して下さった保護者の皆様、大変ありがとうございました。

なお、今年度の冬休みは大変期間が短いため、作品に取り組むかどうかはそれぞれの判断となり、作品発表会も行われなため、全員で行う発表会は来年の夏休み明けとなります。早速やってみたいこのアイデアが浮かんでいる子もいたようですので、今から1年後がとても楽しみです。



自らの作品を見せながら、見所をみんなに伝えました。時には思いがけない裏話も聞かれ、展示するだけではわからない、その作品の魅力が感じられる発表会となりました。



友達の作品に興味津々。「すご〜い！」という声があちこちで上がっていました。



廊下に展示された作品には、互いに付箋に感想を書いて送り合います。こういった取組も少人数の愛国小ならではの、素敵な姿があちこちで見られて、こちらまで嬉しくなります。



低学年は残った時間を利用して親子でカルタ対決。ものすごいスピードで札を取る子どもたちに大人もびっくり！

おびひろ市民学 ～ふるさとを思う心を～

「おびひろ市民学」は、ふるさとの自然環境や歴史、文化、産業、地域の人たちとのかかわりを通して、「ふるさと帯広」に対する誇りと愛着を育み、将来にわたってよりよい地域づくりに関わる子どもを育てることを目的とし、帯広市の全ての小中学校で行われている学習です。愛国小学校でも、1学期から学習は始まっていますが、2学期は外部講師が来る学習もたくさん行われ、子どもたちに様々な学びを生んでくれることになっています。

8月30日（金）には、3・4年生が百年記念館や帯広カムイトウウポポ保存会の方から「アイヌ文化」について学びました。



まずは教室で、アイヌの生活や文化、言葉などについて学びました。アイヌの神「カムイ」についても理解が深まりました。



体育館では、ムックリの演奏を聞かせてくれました。自分のムックリを持ってきていた[]さんも飛び入りで参加！



アイヌの踊りは4種類も教えてくれました。動きに込められた意味を考えながら、みんなで一生懸命踊りました。

これからも、学年に応じた多様な学びが展開される予定です。教科書を使った学びだけでは感じることの難しい「ふるさとのよさ」をたくさん感じて、自分たちの住む街を大切にしたり、よりよくしようとする心情が育ってくるよう、しっかりと学習を進めていきます。

避難訓練 ～そのときどうする？～

9月5日（木）に、今年度2回目となる避難訓練を行いました。今回は「地震」が起こったという想定での訓練で、机の下に入って身を守った後、放送の指示を聞いて体育館まで避難をしました。実は今回の訓練では、避難場所がどこなのかを、先生方にも伝えない状況で訓練を行ってみました。これは、放送の指示をしっかりと聞き、状況に応じた判断力を高めることを狙ってのことでしたが、結果として全校児童が避難し終えるまでに1分30秒しかかからず、大変立派な避難行動ができました。今後も、休み時間の訓練や先生方が教室にいない状況での訓練など、いざという時にどのように行動するとよいのかを“考える”ことができる力を高めていくことができるよう、日常的な指導を継続して行っていきます。

しっかりと机の下で身を守る高学年の子どもたち。自宅や外出先ではどうするとよいのかなど、ぜひ今回の学びを日常にも広げて考えてほしいと思います。



アウトメディアデー

七中エリアでは、中学校のテスト期間に合わせた、9月12～18日までの期間を、アウトメディアデーとして設定し、電子メディア（TV、ゲーム、スマホ等）との接触時間を減らし、その分の時間を家族団らんにあてるなどして人と人とのつながりを大切にしようという取組を行っています。メディアとの接触を完全にゼロにはできなくとも、使う時間を意識してみるだけでもきっと大きな変化が感じられるはずです。子どもたちはそれぞれの目標を書いた紙を持ち帰っていますので、ぜひご家族のみなさんもチャレンジに協力してもらえればと思います。「家族での食事時間にテレビを消す」、といった方法もおすすめです。